

患者さまへのお知らせ・お願い

ピアノコンサートのお知らせ

- 8月26日(木) 奥山由紀さん・志織さん (ピアノ演奏会)
 - 9月6日(月) 泰輝さん (ピアノ演奏会)
 - 9月17日(金) 道志郎さん (ピアノ演奏会)
- 中央藤1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。

昭和大学公開講座のお知らせ

- 日時：平成16年10月23日(土) 13:30~16:30
 - 場所：昭和大学横浜市北部病院 西棟4階診療放射線専門学校講堂
 - テーマ：「物忘れは本当に痴呆の始まりですか? ~アルツハイマー病を中心とした痴呆のお話~」
- 演者：総合内科 助教授 福井 俊哉
「緩和ケアQ&A」
演者：麻酔科 専任講師 長谷川 守 及び 看護部 緩和ケア病棟師長 沢田 祐子
- 予定受講者数：100名(各講演ともに)

応募方法、詳細等が確定しましたら、広報よこはま、病院だより等でお知らせ致します。**まだ応募につきましては開始しておりません。**聴講をご希望される方は今しばらくお待ちください。

お問い合わせ先：昭和大学横浜市北部病院 管理課内公開講座係り TEL:045-949-7000

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(=進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
院内の空調について	院内が暑いとのご意見を複数頂いております。当院におきましては、経済産業省の省エネルギー対策勧告に基づき、空調温度の適正化を実施しています。適正温度としては、「夏28、冬20程度」であり、省エネ効果の大きい提案項目にあげられています。原則的にはこの温度を遵守しますが、湿度等によっては体感温度が異なることから、若干の調整を行っております。診療の特性から温度調整が必要な部署・部屋等に関しては個別に対応を取っておりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
身障者用駐車場について	身障者用の駐車場について、駐車台数が少ないことや身障者ステッカーのない車が駐車をしているとのご意見を頂きました。 身障者用の駐車場は中央棟の地下3階に7箇所。西棟地下1階~3階に1台ずつの計3箇所ございます。中央棟に関しては7月8日より5箇所から7箇所に増設しておりますので、今までより駐車が行ないやすくなったと思われます。また、当院の身障者用駐車場は身障者用のステッカーがない場合でもご利用できることとなっております。お一人で来院されて、歩行が困難な場合などにご利用していただいております。ただし、複数名で乗車している場合は出来るだけ、中央棟の西口(乗降口)で患者様に降車していただき、付き添いの方が一般用の駐車場に駐車していただくことをお願いいたします。身障者用駐車スペースには限りがあり、特に平日の午前中は不足することがございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

いよいよ夏本番。プロ野球も後半戦に入り夏本番。そんな中、横浜スタジアムで野球観戦しました。序盤から激しく点を取り合い延長戦にもつれ込み最後はサヨナラホームランという、熱い試合でした。今年の夏も序盤から暑さ全開。気温が40度を超える日もあり。ニュースでは連日のように熱中症で病院に運ばれた人数が報じられ、今夏の暑さをアピールしているようです。それにしても今年の暑さは、異常気象?地球温暖化?それともヒートアイランドによるものなのか?暑い夏は大歓迎だが…。とりあえず個人でできる対策は熱中症には帽子と水分補給、ヒートアイランド対策にはエアコン設定温度を高めにと考えています。くらからする暑さの中で。

広報委員会 委員 守屋 克之

北部病院だより 第22号

平成16年7月31日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第22号

第22号【2004/07/31 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『禁煙のススメ』

耳鼻咽喉科 科長 門倉 義幸

イベント情報

昭和大学公開講座(7月10日)

病棟たなばた祭り

ボランティアさんの紹介

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ピアノコンサート日程

公開講座のお知らせ

患者様からのご意見・ご要望



冷やしていかがですか?

巻頭言

『禁煙のススメ』

今年は例年になく暑い夏となっておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか?

先日、がん学会への参加のため開院以後3年間の当院耳鼻咽喉科領域におけるがん患者統計を算出しました。その総数は130名で月平均3~4名のがん患者さまが来院されていることとなります。1981年以降、日本人の死亡原因1位はがんです。耳鼻科領域に発生するがんの種類には、鼻・副鼻腔がん、口腔・舌がん、咽頭がん、喉頭がん、唾液腺がん(耳下腺・顎下腺)、聴器がん(外耳・中耳など)、甲状腺がんなどがあります。全国統計によると耳鼻科領域のがんは年間約2万人発症し全がんの5%を占め、その頻度は近年上昇傾向にあります。特に口腔・咽頭がんと甲状腺がんの罹患率が上昇傾向にあり注意が必要です。注目のべきは甲状腺がんを除く耳鼻科領域のがんは約80%が喫煙者に発生しているということです。一般に非喫煙者を1とした場合のがん死亡危険率は喉頭がんで32.5倍(肺がんでは4.5倍)となっております。喫煙により耳鼻科領域のがんが発生しやすいのです。それでは、なぜ人はたばこによって発がんするのでしょうか?それは、煙に含まれる4000種類の化学物質のうち約40種類が発がん物質であり、これらが正常なDNAと共有結合しDNA付加体を形成することで遺伝子変異を生じさせるためです。具体的には癌抑制遺伝子(健康人では万一発がんした場合でも癌細胞を自殺させることが可能な遺伝子)やDNA修復遺伝子などが変異し本来自己防衛のために働く遺伝子が正常に機能しなくなるのです。このことは多くの研究施設で証明されています。したがって多くの耳鼻科領域のがんは禁煙することで予防が可能です。がんの低年齢化も懸念され今後は若年層への禁煙



耳鼻咽喉科 科長

門倉 義幸

指導や子供の受動喫煙(親のたばこを間接的に吸ってしまうこと)の回避が必須と考えられます。禁煙に関して日本は世界に逆行しており2001年ついに世界反たばこ組織よりマルボロマン賞(世界で最も禁煙運動に逆行する団体・政府に贈られる賞)が日本政府に贈られたことをご存知の方も多いと思います。

2003年の日本喫煙人口はJTの調査によれば男性で43.8% 女性で13.6%であり高い喫煙率であるのが現状です。禁煙を考えている方に発がんの危険性の他にもいくつかの医学的データを示します。

1. 禁煙した人のアンケート調査によれば禁煙した理由の43.1%は実際にがんを含めた病気にかかったため。
2. アメリカの大規模疫学調査によれば調査対象の半数以上である約800万人にたばこが原因で歯周病が発生。(たばこによる歯肉血流障害が原因)
3. 皮膚にとってビタミンCは大切。1本の喫煙で25mg(1日必要量の25%)のビタミンCが消費される。(特に女性では肌あれの原因として重要)
4. 親の喫煙により子供尿からニコチン検出(大阪 小児科グループ)
5. 3500人程度の子供を調査したところ親の喫煙(子供の受動喫煙)により子供の虫歯が有意に増加する。
6. 心筋梗塞発症のリスクは3.02倍(1日20本以上で4.71倍)

近年、注目されている分野に抗加齢医学があります。生活の質の改善と健康長寿を目指す医学のことで予防医学の範疇にあります。多くの方は100年生存する能力があります。しかしながら細胞内に生じる活性酸素による障害が加齢とともに蓄積され細胞機能が低下し細胞数をも減少させ老化に反映されるものと考えられます。つまり老化しないために重要なことは必要以上の活性酸素を発生させないということです。活性酸素が発生する原因を知る必要がありますこれを回避することである程度の老化が防げる可能性があります。発生原因は

1. 喫煙・受動喫煙
 2. 過食・食品添加物摂取
 3. ストレス(無いひとはいないと思われませんか?)
 4. 紫外線
 5. 過度の運動
- 活性酸素を除去する作用のあるビタミンC・Eを豊富に含む(ピーマン ほうれん草 ブロッコリー かぼちゃ さつまい)野菜類を摂取することも有効と考えられます。
- 以上を簡単に要約しますと1.喫煙されているかたは禁煙して頂く 2.継続可能な軽い運動負荷 3.栄養バランスに注意し睡眠6時間以上の規則正しい生活 などががんの予防ひいては長寿につながる可能性があるものと考えられます。
- 最後に不幸にもがんのために亡くなられた患者さまへ 心よりご冥福をお祈り致します。

北部イベント

昭和大学公開講座

西棟 4 階放射線専門学校講堂

今年度の昭和大学公開講座の主題は『暮らしと健康』についてです。今回は、内科の菊嶋講師による『不整脈といわれたら - 特に心房細動で脳梗塞を発症しないために』、救急センターの成原教授・看護部の岩山師長による『家庭での救急処置』の2つの講演を開催致しました。

1 題目の『不整脈～』については、予想以上の応募があり市民の皆様の興味・関心の高さに驚かされました。また、講演終了後の質疑応答にも受講者の皆様からそれぞれ抱えている病気に関する悩み事や、ご家族・ご友人の代わりに親身に質問、相談される姿が見られました。

2 題目の『家庭での～』については医師と看護師の視点から「だれでもできる家庭や職場での一時救急処置」をテーマに説明と実技指導を含めた講演を行ないました。講演後半の受講者も参加して等身大の人形を使用しての心臓マッサージや人口呼吸の実技指導では、頭では分かっていたつもりが実際に行なってみると「どの位の力でどこを押せばいいのか」「どの位の量の息を吹き込んだらいいのか」など初めて気付く事が多く、非常に有意義な体験ができたとの意見を多数頂きました。次回は10月です。第4面をご覧ください。詳細確定次第、広報よこはま・病院だより・院内掲示などでお知らせ致します。



病棟 たなばた祭り

7月7日は、小児病棟(中央棟4階B病棟)、緩和ケア病棟(西棟1階)におきまして、たなばた祭りが行われました。紙芝居を読んでもらったり、お茶を飲みながら歓談したり・・・と思いに楽しく過ごしました。当日は気温30度を越す猛暑でしたが、小児病棟では、ルーフに出て水打ちの代わりに氷を撒きながら涼をとり、おやつを食べました。緩和ケア病棟では、ボランティアさんにも参加してもらってお茶会となりました。それぞれに楽しい1ページが出来たようでした。

また、夕食は、栄養科からのプレゼント、たなばたのイベント給食でした。そこで、普段はあまり皆さまと接する機会が少ない病棟の栄養士さんから一言。

七夕の夜に、きれいな夜空を見上げながら、どの星がベガ(織姫星)やアルタイル(牽牛星)なのだろうと思う。太古の人たちは夜空を見上げ、季節の移り変わりを感じとりながら、生活のリズムを作っていたのだろう。最近ではほとんどの食べ物を、1年中食べることができるようになり、「はしり」「旬」「なごり」といった季節感を、忘れてしまうことが多くなってきました。病棟の給食では、サイクルメニューの中で季節の素材を味わうことで、その移り変わりを感じていただければと思い、イベント献立を企画しています。7月7日の一般常食の献立は、ちらし寿司 焼き鳥・枝豆 そうめんのすまし汁 白瓜の漬物 七夕ゼリーでした。ところで、皆さんは夜空を見上げて星を眺められましたか・・・？



ボランティアさんの紹介

今月は病棟ボランティアさんをご紹介します。平成15年9月より活動して頂いている方です。また、現役大学生のボランティアさんです。

南 肇奈さん

私は、内科の川崎先生にご紹介頂き、病棟のボランティア活動をさせて頂いております。外来の方と同じく黄色いエプロンをつけています。大学生である今、自分の持っている時間を少しでも誰かの役に立てたらなと思いを始めました。

活動内容は、主に入院患者さまのお話し相手、車椅子や歩行、食事の補助、レクリエーションの手伝いなどです。色々分からない事もあり、病棟の職員の方にはご迷惑をおかけしていますが、温かく見守って頂いております。当たり前のことも知れませんが、お話し相手と言っても何かしらの病気をお持ちの高齢の方が多いので、押し付けにならないように体調や気分を察知したり、目線を合わせたり、内容や言葉遣いなど貴をつけることは色々あります。また、病棟の方に「来週はいつ来るの?」「ありがとうね。」と言葉をかけて頂いた時はとても嬉しくなります。

朝病院に向かう時気分が浮かなくても、皆さまと一緒に体操をしたり歌を歌ったり、お話しをすると帰りには元気になっているのです。これからも活動を続けて皆さまの元気を分けてもらいたいと思っています。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

7/1 付【6/2~7/1】

【付属病院より】

広田 暢夫
(脳神経外科)
昭和大学医学部
脳神経外科学教室より
専門分野
脳神経外科、血管内治療

【他院より】

安藤 直子
(産婦人科)
昭和大学
平成6年卒
専門分野
周産期、不妊

佐々木雅美
(皮膚科)
東海大学
平成14年卒
専門分野
皮膚科一般

異動・退職医師

6/30 付【6/1~6/30】

木暮 悦子(消化器センター) 長谷川 潤一(産婦人科)
長村 蔵人(皮膚科) 折坂 勝 (産婦人科)

診療統計

2004年5月統計データ()内は1日平均

外来患者数 25,076人(1090.3人)、入院患者数 16,408人(529.3人)、救急車搬送件数 313人(10.1人)、手術件数 330件(18.3件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成16年7月30日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器セン-	門倉光隆(初再診)	笠原慶太(初再診)	北見明彦(再)	佐々木廣仁(初再診)							
消化器セン-	竹内 司	春日井尚	山村冬彦	佐々木廣仁							
循環器セン-	緒方信彦	山本典良	緒方信彦	山本典良							
精神神経科(初診)	工藤行夫	小坂幸乃	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎
精神神経科(再診)	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎
精神神経科(再予)	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎
精神神経科(再予)	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎
内科(緩和ケア)											
事前予約のみ		長谷川 守									
内科(23-2)	山田真帆(内科消化器)	大野恭史(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)	山田真帆(内科消化器)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)
内科(23-5)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)	坂下暎子(内科血液)
内科(25-1)	井上幸治(内科神経)		井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)
内科(25-2)		渡邊浩之(内科内科)		渡邊浩之(内科内科)							
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)
内科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)		三上哲弥(内科消化器)							
内科(25-7)		辻 正富(糖尿病、内分泌)		辻 正富(糖尿病、内分泌)							
小児科	野中善治		梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽	梅田 陽
小児科	曾我恭司	予防接種予約のみ	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司	曾我恭司
小児科	高野忠将		野中善治	野中善治	野中善治	野中善治	野中善治	野中善治	野中善治	野中善治	野中善治
小児外科		杉山彰英		大橋祐介							
皮膚科(初16-3)	宋 寛傑		濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造
皮膚科(再16-1)	濱口太造	三浦久美子	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造	濱口太造
皮膚科(再16-2)	三浦久美子	外科手術	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美	佐々木雅美
外科	中村明央		新井一成	新井一成	新井一成	新井一成	新井一成	新井一成	新井一成	新井一成	新井一成
外科											
形成外科	大塚尚治			大塚尚治							
脳神経外科(初再診)	池田尚人(診断書外来)		池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)	池田尚人(当日のみ)
脳神経外科(再診)	畑山和己	池田尚人(予約のみ)	畑山和己	畑山和己	畑山和己	畑山和己	畑山和己	畑山和己	畑山和己	畑山和己	畑山和己
整形外科	医師(初診外来)	医師	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信	西山嘉信
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	山村拓也	山村拓也	山村拓也	山村拓也	山村拓也	山村拓也	山村拓也	山村拓也	山村拓也
整形外科	川崎恵吉		(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)	(齋藤)
産婦人科(初診12-7)	鈴木紀雄(奇)	安藤直子(偶)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)	高橋 諄(中山 健)
産婦人科(産科12-1)	近藤哲郎		小川公一	小川公一	小川公一	小川公一	小川公一	小川公一	小川公一	小川公一	小川公一
産婦人科(産科12-6)	高橋 諄		中山 健	中山 健	中山 健	中山 健	中山 健	中山 健	中山 健	中山 健	中山 健
産婦人科(産科12-8)	小川公一		鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄	鈴木紀雄
産婦人科(産科12-6)											
泌尿器科(初診)	佐々木春明		椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦	椎木一彦
泌尿器科(再診)	島田 誠	島田(女性外来予約のみ)	深澤 立	深澤 立	深澤 立	深澤 立	深澤 立	深澤 立	深澤 立	深澤 立	深澤 立
泌尿器科(再診)		椎木一彦		椎木一彦							
泌尿器科(検査)		菅原 草		菅原 草							
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直	小池正直	小池正直	小池正直	小池正直	小池正直	小池正直	小池正直	小池正直
眼科	中村 徹		中村 徹	中村 徹	中村 徹	中村 徹	中村 徹	中村 徹	中村 徹	中村 徹	中村 徹
眼科	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	腫瘍科外来予約のみ	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘	池田尚弘
耳鼻咽喉科13-2	徳丸岳志(再診)		油井健史	油井健史	油井健史	油井健史	油井健史	油井健史	油井健史	油井健史	油井健史
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎	めまい外来予約のみ	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎	柳裕一郎
耳鼻咽喉科13-5											

放射線治療の外来日は、月火水金： 馳澤憲二です。